

手話の説明

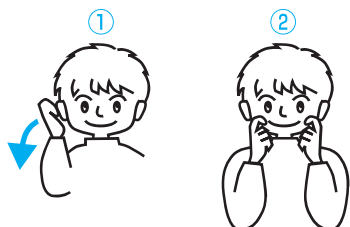
手話とは

手話は耳の聞こえない人達にとってのコミュニケーションの方法としてもっとも良く使われる言葉であり、身振り・表情・手の形・動きなどによって会話をする方法です。

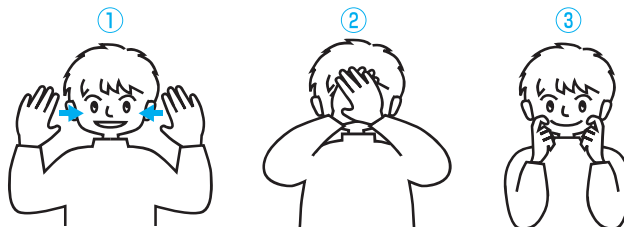
また、手話の他に耳の聞こえない人達のコミュニケーションの方法として、相手の口や舌の動きを見る [口語]、紙に書いてお互いの意思を伝えあう [筆談]、文字や数字を空間に書く [空書]、指だけを使って日本語の五十音を表す文字記号の [指文字] があります。

手話の例 (あいさつ)

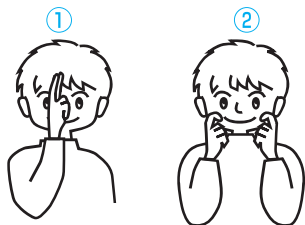
「おはようございます」



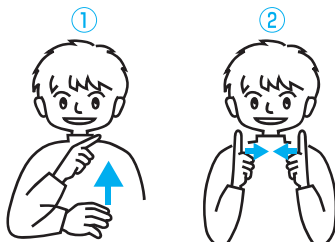
「こんばんは」



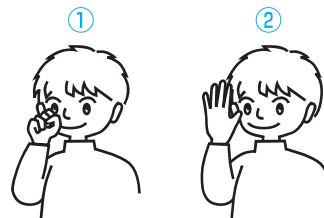
「こんにちは」



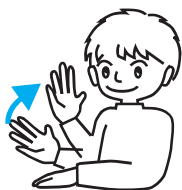
「はじめまして」



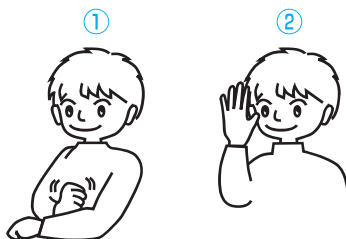
「よろしくお願いします」



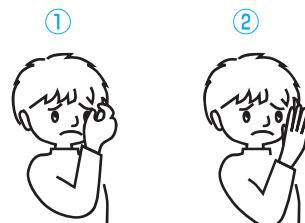
「ありがとう」



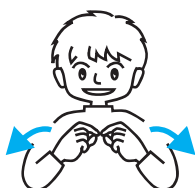
「ごくろうさま」



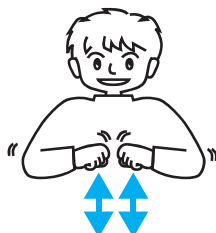
「すみません」



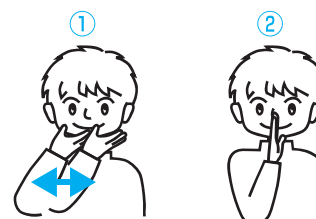
「久しぶり」



「元気」



「ごちそうさま」



指文字

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユ		ヨ

ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ヰ		ヱ	ヲ
ン	丨			
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
パ	ピ	プ	ペ	ポ

実際に指文字を行う場合は、左指右指いずれの指でもよいですが、上記の図表は相対する人の右の指による指文字を正面から見た場合のものです。

- ①「ソ」「ハ」……斜指から見た図。実際には相手の人に指先を向ける。
- ②「ノ」……人差指で空中にノの字を書く。
- ③「リ」……人差指と中指を立て少し間を開き、リの字を空中に書く。
- ④「ヲ」……ヲの指文字をそのまま後方に引く。
- ⑤「ン」……人差指で空中にンの字を書く。
- ⑥「丨」……人差指で縦に線を書き下ろす。
- ⑦「↑」……矢印は手の移動の方向を示す。

耳の不自由な人に対するエチケット

正しい呼び方

「聴覚障害者」、「聴力障害者」、「耳の不自由な人」、「耳の間こえない人」、「耳やことばの不自由な人」などが正しい呼び方です。

接し方

- ①あなたが聴覚障害者の真正面に立って、口をやや大きく開いて簡単な単語を短く1小節ごとに区切って、ゆっくり、わかりやすく話してください。
- ②聴覚障害者には、後ろや横から話しかけないで、正面から話してください。
- ③口の動きがわからない人や口のきけない人には、手に書くなり紙に書いてください。
- ④聴覚障害者とのわかりやすい話し方
 - (例1)店頭で聴覚障害者が品物の値段を尋ねたとき、「このセーターは3,500円です」と答えるより、「3,500円」だけの方がわかりやすい。
 - (例2)聴覚障害者が道や場所を尋ねたときは、「どこまで行きますか」と尋ねるより、「どこまで」の方がわかりやすい。
 - (例3)「今日は、都合により休ませていただきます」と話しをするときは、「休み」だけでもよいし、「今日は休み」でもよい。
- ⑤道路を一緒に歩くときは、車道側をあなたが歩いてあげてください。(聴覚障害者は、後ろから来る車の音が聞こえません。)
- ⑥耳の間こえる人たちの集まりの中では、聴覚障害者に話しの内容を手話なり、筆談で教えてあげてください。

[資料:鳥取県社会福祉協議会発行「手話テキスト他」]